

# 法人本部

物価高騰や人材確保難だけでなく、生成 AI の急速な発展などにより、社会は近年にないスピードで変化している。この激動する社会の中、新たな中期事業計画「Vision2030」が始動する。法人が社会に必要とされ続けるため、デジタル技術を最大限活用し変化に対応するとともに、あらためて理念の継承とその実践を重ね、Vision2030 の実現に向けた第一歩を着実に踏み出す。

総務部では人事給与システムの安定稼働に努める。シェアードサービスセンターでは各施設の業務の標準化を更に行い、システム仕様の統合を図る。人事企画部では採用・育成に加え新たな人事関連制度の検討プロジェクトを開始する。総合情報システム部は災害時を想定した訓練、復旧体制の構築に加え、デジタル推進・活用を担う人材の確保、育成を通じて、更なるデジタル技術活用を進める。総合企画室は理念浸透、実践を促進するためのブランディング施策を推進する。また引き続き、法人として行う公益的な取組を検討する。健康推進室では健康経営の基盤となる健康管理システムの運用を開始し、財務部では将来の大規模投資を見据えた資金及び運用計画を策定、実行する。監査室、法務室においてもデジタル技術を活用し精度の向上と効率化の両立を目指す。

各部署は、次の年度事業目標（重点施策）を策定する。

## [総務部]

1. 地域における公益的な取組等の適切かつ積極的な情報開示
2. 総務人材育成に必要な動画コンテンツなどの作成
3. DX ツールを活用、管理できる人材の育成
4. 多様な働き方に対する労務環境の整備
5. 病気に関する両立支援制度の策定
6. 福利厚生制度利用者の増加
7. 業務の標準化と集約化による生産性の向上

## [人事企画部]

1. 新たな人事関連制度の導入検討 ～人事関連制度の検討プロジェクトを始動～
2. 採用競争力と定着率の向上
3. 法人理念および施設理念の理解促進および理念浸透
4. 未来への成長を促進するアクティブな人材の育成
5. 戦略的人事の実現と業務効率化に向けたデジタル技術の導入と活用

## [財務部]

1. BS 経営、CF 経営の推進による事業団経営管理機能の強化
2. 経理業務の集約化・DX 推進による業務効率化
3. 税務・会計ガバナンス体制の強化

#### 4. 経理職員の育成

##### [総合情報システム部]

1. 災害リスクに対応した復旧体制の整備と復旧訓練の実施
2. デジタル推進人材、活用人材の確保と育成
3. 職員の情報リテラシーや情報セキュリティへの意識向上
4. 人事給与システムのスムーズな更新
5. AI プラットフォームの選定とデジタル技術の活用人材の教育の実施
6. 各事業部への継続的な支援と利便性向上に向けた取組みの実施
7. システム導入前後の評価とモニタリングの実施

##### [総合企画室]

1. Vision2030 の羅針盤となる総合企画室
2. 現場とともに進める経営・運営支援
3. 効率性と高い質を両立した広報による聖隷ブランドの強化

##### [健康推進室]

1. 健康経営の推進
2. メンタルヘルス対策の推進
3. 健康管理システムの運用構築と持続的な安定稼働体制の確保

##### [監査室]

1. 内部監査の精度向上
2. 内部監査業務の DX 推進により効率化と高度化
3. 情報の共有による法令遵守推進

##### [法務室]

1. 内部通報制度の充実
2. コンプライアンス経営に資する啓発活動
3. 法務関連業務の強化

##### [シェアードサービスセンター]

1. 高齢者公益事業部各施設の業務標準化
2. 業務標準化の検証と、業務の質・生産性及び職員サービスを向上
3. 共同購入の拡大の検討
4. 勤怠システムの仕様統合
5. 業務用車両の管理システムの構築
6. 労務管理のスペシャリストを育成
7. 多様な人材を受け入れる業務の検討